

年頭あいさつ



新年あけまして
おめでとう
ございます



連合鳥取

会長 本川 博孝



妖怪神社(境港市)と
ねずみ男駅(米子市)
〈JR米子駅・境線の0番(霊番)ホーム〉

新年あけましておめでとう
ございます。

組合員のみなさんには、ご家族お揃いで新春をお迎えになられたこととお慶び申し上げますとともに、旧年中は連合鳥取の運動にご協力いただき心より感謝申し上げます。

さて、1990年2月9日に「連合鳥取統一大会」が開催され、32構成組織、組合員33,752人でスタートし、今年で結成30年を迎えることとなりました。今日まで、労働者の地位向上と労働基本

権の確立、県民生活の向上など、積み重ねられた運動は、多くの困難を克服し奮闘された先輩、こぶしを重ねて闘った仲間との奮闘の結果であります。あらためて、心より敬意と感謝を申し上げます。

日本社会は今、人口減少と少子・高齢化が急速に進み、労働力不足という構造的な問題を抱え、長時間労働や過重労働が労働者の生命を危険にさらしています。そして、短

時間・有期・派遣などの雇

用形態で働く多くの労働者には、将来の雇用や生活に対する不満や怒りが蔓延しています。

今、必要なことは、労働者・生活者の視点での経済の成長であり、誰もが安心して働き続けられる環境を整えることです。

雇用や生活に不満が渦巻いている今こそ、労働組合が労働者・生活者の頼りになる存在として積極的に行動し、その期待に応えていかなければなりません。

当面する「2020春季生活闘争」では2014年からの賃上げを継続させ、すべての労働者・生活

者の暮らしの「底上げ・底支え」「格差是正」を達成し、「働くことを軸とする安心社会」の実現に向けて、一人ひとりが自らの生活と政治との繋がりを意識し、積極的に行動しなければなりません。

連合鳥取は、労働者・生活者の拠り所としてその力を結集し、さらなる運動の強化と、地域に顔見える運動を進めてまいります。結成30年の節目の年、連合鳥取の運動がさらに発展しますよう組合員のみなさんの結集をお願いし、新年のあいさつとします。

Information

※詳しくは、連合鳥取事務局へお問い合わせください。

連合鳥取結成30周年
キャッチフレーズ
優秀作品決定!

コンセプト
「喜び・感謝・飛躍」

41作品(7産別)の応募の中から選ばれました!

最優秀賞

ともに歩んだ30年、
明るい未来へ新たな一歩を
JR連合JR西労組 石指 友基さん

優秀賞

積み重ねてきた30年
みんなの思いが未来を創る
JAM明治製作所労組 牧 純也さん

仲間とともに30年 感謝を胸に
時代を切り拓く強い力で飛躍の一步!!
紙パ連合王子製紙新労米子支部 加藤 志延さん

思いをつないだ30年
未来へつながる 新たな一歩を
JR連合JR西労組 角原 茂男さん

※最優秀賞、優秀賞のみなさんには、産別を通じて記念品をお送りいたします。

連合のビジョンは “まもる・つなぐ・創り出す”

地協&女性委員会 2020年度活動スタート!

- 東部・中部・西部地域協議会&女性委員会・青年委員会 定期総会を開催 -

東部地協「第26回定期総会」:
12月10日(火)/白兔会館



議長 村尾昌彦(交通労連)
副議長 下村教光(自治労)
河村雅仁(UAゼンセン)
岸本幹男(電機連合)
橋本智洋(日教組)
藤田浩二(JP労組)
勝田智博(全国農団労)
事務局長 吉田 正(JAM)
事務局次長 伊藤孝明(電力総連)
濱崎耕次(情報労連)
幹事 -18人-

中部地協「第25回定期総会」:
12月6日(金)/倉吉体育文化会館



議長 坂本浩憲(JP労組)
副議長 梅津浩治(日教組)
笠見一也(全国農団労)
高橋玄一(JAM)
米田浩子(フード連合)
山本理仁(電機連合)
事務局長 松本善樹(自治労)
事務局次長 妹尾明子(全労金)
幹事 -7人-

西部地協「第25回定期総会」:
12月11日(水)/米子コンベンションS



議長 矢辺慎一(JP労組)
副議長 遠藤史章(自治労)
内田卓実(紙バ連合)
市川雅也(電力総連)
事務局長 佐貫 馨(JR連合)
事務局次長 宇田川英規(全国農団労)
遠藤憲二(私鉄総連)
和泉綱樹(全水道)
幹事 -19人-

青年委員会「第29回定期総会」:
12月1日(日)/米子市文化ホール

青年委員会は、12月1日(日)、米子市文化ホール研修室において、代議員44人(委任含む)、役員12人が集まり「第29回定期総会」を開催しました。

来賓として連合鳥取から田中穂事務局長にご出席いただき、激励のあいさつをいただきました。

その後、中松輝嘉(日教組)代議員を総会議長に選出し、2019年度の活動報告・2020年度の活動方針等が提案・承認されました。

また、今年度は役員改選期であり、山本徳穂委員長(全国農団労)と堀尾修也事務局長(私鉄総連)を中心とする新体制が承認され、2020年度の活動をスタートしました。



委員長 山本徳穂(全国農団労)
副委員長 小坂泰文(自治労) 小谷透広(電機連合)
谷本忍(フード連合)
事務局長 堀尾修也(私鉄総連)
幹事 -9人- 会計監査 -2人-

女性委員会「第24回定期総会」:12月7日(土)/倉吉体育文化会館

女性委員会は、12月7日(土)、県立倉吉体育文化会館において「第24回定期総会」と「学習会」を開催しました。

<第24回定期総会>

主催者を代表して太田裕美委員長が挨拶を行った後、来賓として連合総合局長の井上久美枝さんと連合鳥取の本川博孝会長より激励のあいさつをいただきました。

その後、2019年度一般活動報告、会計決算報告の承認、第1号議案2020年度活動方針案、第2号議案予算案を執行部が提案し、原案通りに承認されました。第3号議案役員選出では、澤田陽子さんを新委員長に選出し新体制がスタートしました。

<学習会>

総会終了後には、井上総合局長を講師に「仕事の世界における暴力とハラスメントの根絶」を演題とした学習会を実施しました。日本では「セクハラ等には防止措置義務はあるものの禁止規定はない」ことが紹介されました。また、ハラスメントを受けたことがある人が約4割もいるという実態もあり、相談窓口の充実など労使交渉で職場環境を改善していくことが大事であると感じました。



委員長 澤田陽子(自治労)
副委員長 中嶋まどか(JR連合) 寺田真理(全労金)
事務局長 中山小百合(JAM)
幹事 -9人- 会計監査 -2人-

-お世話になりました-

■東部地協■



橋本智洋
前議長



馬場一憲
前事務局長



笠見一也
前議長



山田秀之
前事務局長

■青年委員会■



中嶋和宏
前委員長



野口貴宏
前事務局長

■女性委員会■



太田裕美
前委員長



森香里
前事務局長

-よろしくお願ひします-

■東部地協■



村尾昌彦
議長



吉田 正
事務局長



坂本浩憲
議長



松本善樹
事務局長

■青年委員会■



山本徳穂
委員長



堀尾修也
事務局長

■女性委員会■



澤田陽子
委員長



中山小百合
事務局長

2020 連合鳥取任務機構 - 「第1回執行委員会 (2019.12.12) 確認」 -



会長	本川 博孝													
副会長	澤田 陽子	林 大介	井上 匡央	飯國 永睦										
事務局長	田中 穂													
副事務局長	江口 真也	吉田 正	松本 善樹	佐貫 馨										
企画委員会	○澤田 (オブ)	林 江口	井上 吉田	飯國 松本	○田中 佐貫	山口 (森本)	村尾	坂本	矢辺					
30周年記念行事PT (企画委員会と同じ/副事務局長も正規構成員)														
総務局	○田中穂													
組織局	○山口	林	井上	田中穂	○江口	○吉田	松本	佐貫	森本	垣屋	井塚	長屋	山崎	矢田
非正規労働セク	(組織局と同じ)													
中小労働局	○林	田中穂	○江口	○吉田	松本	佐貫	山口	森本	垣屋	中嶋逸	矢田	鈴木	苗村	森
中小共闘センター														
国民運動局	○井上	田中穂	○江口	吉田	松本	佐貫	山口	垣屋	谷本	安藤	和泉	山崎	田中文	山中
広報・教育局	○森本	飯國	田中穂	○江口	吉田	松本	佐貫	谷本	井塚	安藤	和泉	中嶋逸	金田	鈴木
男女平等局	○澤田	田中文	安養寺	小西	森	山本								
労働政策局	○飯國	林	井上	田中穂	○江口	吉田	松本	佐貫	谷本	井塚	長屋	金田	鈴木	苗村
政治センター	○本川	川口	安養寺	古川	小西	森	山本							
青年委員会	委員長/山本	副委員長/小坂	小谷	谷本	事務局長/堀尾									
女性委員会	委員長/澤田	副委員長/中嶋	寺田	事務局長/中山										
地域協議会	東部地協 議長/村尾	事務局長/吉田	中部地協 議長/坂本	事務局長/松本										
	西部地協 議長/矢辺	事務局長/佐貫	※各地協事務局長は連合鳥取副事務局長と兼任											

本年もどうぞ
よろしく
お願いします

希望を持って安心して働き続けていくために 労使&行政共同で開催 - 「働きやすい鳥取県」を推進するシンポジウムに180人参加 -

連合鳥取、鳥取県、鳥取県経営者協会による「長時間労働是正に向けた共同宣言 (2019.3.11締結)」の事業として、「働きやすい鳥取県」を推進するシンポジウムが12月16日(月)、とりぎん文化会館で開催され、連合鳥取からは59人の参加がありました。



連合鳥取の本川博孝会長、県経営者協会の真鍋和彦幹事、県雇用人材局長の三王寺由道局長の開会あいさつで始まり、第1部基調講演と続きました。

＜第1部基調講演＞ 演題/「すべての人が活躍できるイキイキと働ける仕事環境づくり
～女性もシニアも、人が真に活躍できる経営を追求～」
講師 三州製菓(株)(高級米菓・洋菓子製造販売:埼玉県)
代表取締役社長 齊之平伸一さん(写真右)



◎経営改革を進めるための発想方針の転換には職場風土の改革が必要であることや、女性活躍・シニア活躍・全員活躍(ダイバーシティ)経営の実践事例を紹介され、「一度しかない人生で自分の会社を選んでくれた」従業員に対する感謝と、多様な働き方を支えるにはチームワークが重要であることを強調されました。

＜第2部パネルディスカッション＞ テーマ/「多様な人材が活躍できる職場環境づくり」
コーディネーター/(一財)日本ダイバーシティ・マネジメント推進機構 専務理事 油井文江さん(写真右)
パネリスト/県とっとり働き方改革支援センター課長補佐 河野小夜子さん(行政)
(写真左から) 連合鳥取 田中穂事務局長(労働者)
リバードコーポレーション(株)執行役員 山崎達哉さん(使用者)
三州製菓(株)社長 齊之平伸一さん



◎基調講演のまとめを基本に、公労使それぞれから「働き方改革関連法」の意義と今後の展望について議論されました。

全国一斉集中労働相談ホットライン 「STOP!長時間労働～あなたの働き方は大丈夫?～」 連合鳥取に6件の相談が寄せられる

連合は、12月12日(木)と13日(金)、社会に向けて労働時間を含めた働き方見直しの必要性やワークルールの浸透・周知を行うとともに、不安や悩みを抱える労働者のみなさんからの相談を受け、解決につなげていくための「全国一斉集中労働相談ホットライン」を実施しました。



連合鳥取においても産別から派遣いただいた相談対応者や専従役員、組織アドバイザーが待機し、「未払い賃金」「パワハラ」「再雇用」など様々な悩み事について相談を受けました。 NHK鳥取のニュースでも放送された(取材を受ける田中穂事務局長)

Information

※詳しくは、連合鳥取事務局へお問い合わせください。
連合鳥取2020新春のつどい (結成30周年記念レセプション)

◆日時 2020年1月17日(金) 17時00分開会
◆場所 白兔会館(鳥取市) ※産別を通じてご案内しています
連合鳥取は2月9日結成30周年を迎えます

2020春闘開始宣言集会

◆日時 2020年2月8日(土) 13時30分開会
◆場所 ハワイアロハホール ※産別を通じてご案内します



湯原俊二

— りょくひの想い —

あけましておめでとうございます



今年一年が、みなさまにとって素晴らしい年になりますことをご祈念申し上げます。

また、今年も連合鳥取結成30周年の記念の年でもあります。「働くことを軸とする安心社会の実現」に引き続きご尽力を賜りますことをお願い申し上げます。

さて、安倍総理の「桜を見る会」の問題は、説明がなく国民が納得しないまま越年しました。この問題でも公文書の取り扱い、あまりにもずさんで民主主義が危うくなっています。公文書は、次世代も含め主権者である国民が政治や行政を検証するための証拠です。今の政治判断により次世代は大きな影響を受けます。後々の国民も当時の政権が何をしてきたのかを検証するためには、公文書管理は重要です。安倍政権は、森友、加計、イラク日報、桜を見る会の問題などでは公文書を改ざん、隠ぺい、廃棄しました。私は外交文書や官房機密費の使途先なども含め次世代が検証できるように30年間ぐらいで、すべて公開すべきと思います。そうすれば政権も自ずと暴走しなくなります。



連合鳥取第27回定期大会で挨拶する湯原俊二さん

“ザ・議員”

浜田 妙子 鳥取県議会議員

女性を政治の舞台へ

世界経済フォーラムによる2019年ジェンダーギャップ指数が年末に発表されました。153カ国中121位の日本は過去最低を更新し、なかなか汚名を返上できません。

女性達よ輝け！ 社会へ飛び出せ！ リーダーたれ！ 管理職になれ！

今年6月、女性活躍推進法が改正され、呼びかけはより勢いを増し、男女平等社会への加速化を期待しました。

方向は逆を走っています。ワーキングプア、貧困シングルマザー、非正規労働、DV、就労困難等。社会問題の代名詞は女性の問題です。

政府の掛け声より必要なのは、女性たちの現場の声を政治に届けること。国・県・市町村への女性の政治参画を心から願っています。



9月定例会での一般質問の様子

棕田 昇一 鳥取市議会議員

鳥取市議会では2年前から、毎定例会後に反省点や改善点を出し合う「総括」を議会運営委員会で行い、合意できた事項から随時取り入れています。

陳情・請願の審査結果は、従前から提出者に報告していますが、関係機関に意見書を提出する場合は、その文面を添付して通知することにしました。会派未来ネットは積極的に提案活動をして「議会改革」に臨んでいます。これも一例です。採択された県教組東部支部の陳情と不採択となった自治労県本部の請願がきっかけでした。

「議会改革検討委員会」もありますが、「総括」は臨機応変に対応する取り組みです。この議論の場、良くも悪くも面白いですよ！傍聴できます。



登壇席で質問する棕田議員

連合鳥取は、「私たちが未来を変える〜安心社会に向けて〜」をスローガンに「第27回定期大会」を2019年11月21日開催し、新たな運動方針と役員体制を確認した▼労働組合があつて、そこではじめて集団的労使関係が生まれる。そのことで労働者の主張が形となり、権利が保障され、生活が守られる。そして人々が生き活きと働けることで、良質な製品がつくられ、素晴らしいサービスが世の中に送り出される。そのことによって配分の基礎となる付加価値が実現し、富が生まれる。この好循環が必須である▼年明けとともに2020春闘がスタートする。県民の生活の底上げをはかるため、県内すべての労働者の「底上げ」「底支え」「格差是正」「働き方の見直し」に取り組み安心社会を実現しよう▼連合鳥取結成30周年。改めて労働組合の存在価値を共有し、すべての働く仲間・生活者の頼りになる拠りどころへと飛躍していこう。

(事務局長)



トクシクニクニ



再生紙を使用しています